



日本共産党

のの山けん 区政レポート

<http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

北区議会議員

No.41 2008.3.12

発行

のの山けん事務所

〒115-0042志茂4-6-15

ご相談は
お気軽に

090-2156-3510

「指定管理」の問題点浮きぼりに

区議会08年度予算特別委員会で、のの山議員が追及

のの山議員は、業務委託で運営されている「元気ぶらざ」（志茂1丁目）が、この4月から指定管理者制度に移行する際に、働く職員の数が大幅に減らされる点について質しました。

区は配置数では現状維持といいますが、実人数（雇う人数）では、現在の50人（常勤6、非常勤44）から移行後の37人（常勤5、非常勤32）と13人の減になります。とりわけプールの監視員は現在の32人から29名へ、この29名は、監視員と受付を兼ねるので、実質は現行の32人と受付の8人、計40人から29人に、11人も減ります。

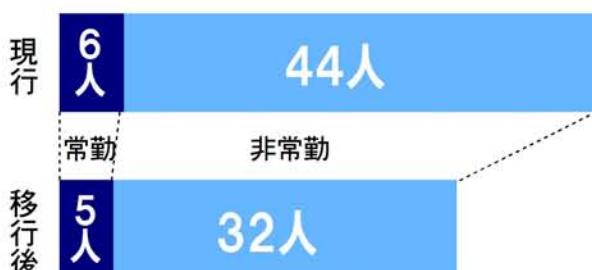
一昨年、女兒が排水溝に吸い込まれ死亡したふじみ野市での

プール監視員が 11人も減らされる！？

のの山議員は、業務委託で運営されている「元気ぶらざ」（志茂1丁目）が、この4月から指定管理者制度に移行する際に、働く職員の数が大幅に減らされる点について質しました。

《「元気ぶらざ」の場合》

●職員の実人員は13人の減



●人件費、区ではつかめない！

1年目の人件費 約6800万円 → ???

2年目

3年目

「指定管理者制度」とは？

それまで地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理を、株式会社をはじめとした民間やNPO法人にもさせができるという制度。小泉内閣が推進した「官から民へ」の流れの中で具体化されました。

プール事故では、受託会社が無断で業務を下請けに出していたなど多くの問題点が指摘されました。のの山議員は「人命にもかかわるプール管理において、人減らし合理化につながるような指定管理への移行は見直すべきだ」と迫りました。

プール事故では、受託会社が無断で業務を下請けに出していたなど多くの問題点が指摘されました。のの山議員は「人命にもかかわるプール管理において、人減らし合理化につながるような指定管理への移行は見直すべきだ」と迫りました。

さらに、指定管理者へ移行すると、最初の年は職員の配置やおおよその人件費が示されるが、2年目以降の給与水準については区の側では把握できなくなってしまうと指摘。「これではブラックボックス。『3年間で1億3千万円の効果』というが、どれだけ人件費が減らされるかさえつかめないではないか」と制度の問題点を追及しました。

さらに、指定管理者へ移行すると、最初の年は職員の配置やおおよその人件費が示されるが、2年目以降の給与水準については区の側では把握できなくなってしまうと指摘。「これではブラックボックス。『3年間で1億3千万円の効果』というが、どれだけ人件費が減らされるかさえつかめないではないか」と制度の問題点を追及しました。

子ども育成の場に営利主義

児童館の指定管理者に株式会社を参入させてよいのか

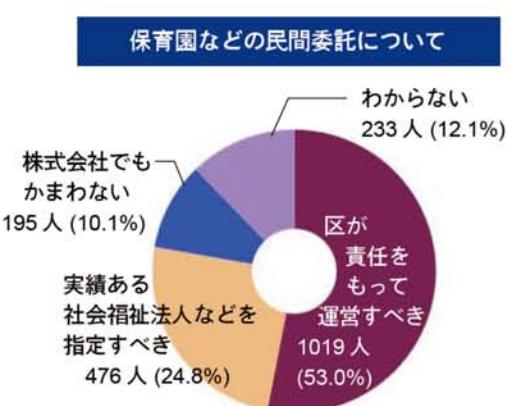
日本共産党区議団が昨年まとめたアンケートでは、保育園や児童館の運営について、区や実績ある社会福祉法人にまかせるべきとの声が約8割を占め「株式会社でもかまわない」はわずか1割でした（グラフ参照）。

保育園の場合には保護者からの要望も強く、応募資格に条件をつけて株式会社をはじめから排除しています。ところが児童館では制限をつけていたため、さ来年度から指定管理者導入予定の十条台児童館では、応募した6法人すべてが株式会社となっています。

株式会社参入には強い警戒心

7日の予算特別委員会で、のの山区議は、児童館の指定管理者に株式会社を参入させる北区の姿勢を厳しく批判しました。

日本共産党区議団が昨年まとめたアンケートでは、保育園や児童館の運営について、区や実績ある社会福祉法人にまかせるべきとの声が約8割を占め「株式会社でもかまわない」はわずか1割でした（グラフ参照）。



内容や施設設備にも重大な問題点があることが明らかになっています。問題となつた「じゅんぐる園」（荒川区）を運営する株式会社・日本保育支援協会の三谷忠士代表取締役は、自らの著書で「保育所経営はどのくらい儲かるのか」と問い合わせています。のの山区議は「子ども育成の場に営利主義を持ち込むことは許されないと書いています。

株式会社は「儲け」が第一

東京都が保育への企業参入を拡大するため導入した認証保育所の現場では、職員の架空申請など不正疑惑が発覚、保育

株式会社参入の認証保育園では…

- 開設時には配置されていた調理師が途中で退職し保育士が交代でやらざるを得ず、手が回らないため電子レンジで温めるだけの食事の時もあった。
- 開設から1年ぐらいは食器はすべて100円均一で購入した塩ビ製で、熱湯消毒もできず。

党都議団の調査で明らかになつた「じゅんぐる園」の実態

これが株式会社の本音

- 「認可外はかなりリスクが少ない商売だ…在庫を抱える心配もありません」
- 「認可外保育所には…これといった特別なノウハウはありません」

三谷忠士日本保育支援協会代表取締役の著書より



赤羽から10分、露天風呂で気分スッキリ！ おさんぽ温泉ツアー

- とき 3月26日（水）午前11時・赤羽駅東口噴水前集合
- ところ 板橋・前野原温泉『さやの湯処』
- 主催 日本共産党志茂・赤羽後援会